

啐啄之機

<校長だより>

平成26年3月13日

第4号

新庄市立泉田小学校

文責：齋藤 宏

大きな成果あげた「アルペンスキー教室」



～ご協力いただいた保護者のみなさんに感謝！感謝！感謝！です。～

今年度は、クロカンスキーに代えて、アルペンスキーを行う予定でした。そして、予定通り、1年生から6年生まで各学年2回ずつ、市民スキー場で、アルペンスキー教室を実施しました。但し、1・2年生は、体力面を考慮し、午前中のみで2回実施し、3年生以上は、昼食をはさんで午前と午後に行いました。といっても、3年生以上も、スクールバスの関係で、十分な時間を確保することはできませんでした。限られた時間、限られた回数の中ではありましたが、指導を工夫し、改善を図りながら内容の充実を図り、そして、保護者の方々やスキー場からも多大なご協力をいただいて、大きな成果を上げることができました。

成果の一つ目は、何と言っても、ほとんどが初心者だった1・2・3年生の中で、全員に近い子どもたちが、リフト体験をして、ターンやスピードをコントロールしながら、斜面を滑り降りることができるようになったことです。

成果の二つ目は、今年度作成した「泉田小学校アルペンスキー授業教程」をもとにして、そこにそれぞれの班の指導者の工夫を加えながら、子どもたちの指導に当たるようにしたことです。班のレベルに応じて、指導の充実が図れました。

成果の三つ目は、2月11日開催の市総合体育大会スキー競技大会に、2年生から6年生までの内男女12人が参加したことです。しかもその中の3名は入賞することができました。

そして、**成果の四つ目**は、今年度の本校のアルペンスキー教室の低学年での指導のノウハウや指導の成果を、萩野学園のアルペンスキー教室につないでいくことができるということです。

子どもたちからは、滑れるようになった喜びやリフトに乗れた楽しさなどの感想をたくさん聞くことができました。

保護者のみなさんの協力があって、はじめてできるスキー教室です。萩野学園になっても、たくさんのご協力よろしくお願いします。



いつでも萩野学園の開校、大丈夫!?

2月25日(水)に、萩野小・昭和小・萩野中(1・2年生)の児童生徒が、泉田小学校に集まり、開校式・入学式・始業式の準備のために、合同で萩野学園の校歌の練習を行いました。

作詞者の近江正人氏と作曲者の木島由美子氏のお二人をお迎えして、作詞者・作曲者の思いを、子どもたちに伝えていただきました。校歌の歌詞に込められた「子どもたちのきづなが結ばれ、ふるさとの希望となるように」との思いと、それを表すためのメロディーの工夫をお聞きし、子どもたちは歌声に心を込めて、初めて声を合わせたにもかかわらず、ボリュームたっぷり、元気いっばいに萩野学園校歌「風になれ 虹になれ」を歌うことができました。

子どもたちの歌声に、お二人ともとても感激しておられました。そして、「こんなすばらしい歌声で歌える子どもたちは初めてだ。」という感想をいただきました。歌声もその一つですが、そうした子どもたちの「豊かな表現力」は、きっと、萩野学園の伝統になっていくものと、たいへん楽しみにしています。

開校式は、4月5日(日)午前10時開式予定です。また、午後からは、地域の方を対象にした萩野学園の内覧会が予定されています。どうぞお楽しみに。



いよいよ「泉田小学校閉校」の大詰めを迎えました!

2月20日(金)には、PTA解散総会を行いました。そして、3月6日(金)には、泉田小学校教育後援会と泉田地区学校づくり協議会の解散総会を行いました。

泉田小学校閉校記念誌「あゆみ」が完成し、現在、地区評議員の方から区長さんの方へ届けていただいています。地区の皆様には、間もなくお手元にお届けできることと思われます。お手元に届きましたら、どうぞお手にとって、本校140周年の歴史や伝統を振り返ったり、当時のみなさんそれぞれの思い出を思い出したりする機会にいただければ幸いです。

3月18日(水)は、いよいよ本校、最後の卒業式です。今回で、第68回の卒業証書授与式となります。42名の卒業生です。素晴らしい式になるように、その日に向けて、今、全校で練習を重ねています。

「終わりよければ、全てよし。」これは、去年から、子どもたちと、合言葉にしてきた言葉です。140周年の歴史と伝統にふさわしい卒業証書授与式になるように、職員と子どもたちとで、心を合わせてのぞみたいと思います。

これまでの保護者・地域の皆様のご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。